

岡山県感染症週報 2020年第46週 (11月9日～11月15日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

12月1日は『世界エイズデー』です

◆2020年第46週(11/9～11/15)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第44週 2類感染症 結核 1名(40代 女)
 第45週 2類感染症 結核 1名(70代 女)
 第46週 2類感染症 結核 3名(80代 女 2名、90代 女 1名)
 4類感染症 レジオネラ症 1名(80代 男)
 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名(70代 男)
 梅毒 1名(40代 女)
 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 58名



ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い!

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男			4	4	9	4	4	1		1	2
女		1	3	4	5	2	3	3		3	1
性別非公表											4

【第47週 速報】

○新型コロナウイルス感染症の速報値については「今週の注目感染症①」をご覧ください。

1. **新型コロナウイルス感染症**は、2020年第46週に58名の報告があり、2020年第46週までの累計報告数が396名となっています。全国や岡山県の発生状況など詳しくは「**今週の注目感染症①**」をご覧ください。
2. **12月1日は『世界エイズデー』です。**岡山県では『世界エイズデー』の関連行事として、エイズに関する正しい知識の啓発活動および保健所・支所で夜間・休日等のHIV抗体検査を実施します。詳しくは「**今週の注目感染症②**」をご覧ください。

レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴



流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	▲	★	RSウイルス感染症	▲	★
咽頭結膜熱	▲	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▶	★
感染性胃腸炎	▶	★	水痘	▶	★
手足口病	▶	★	伝染性紅斑	▶	★
突発性発疹	▶	★	ヘルパンギーナ	▶	★★★
流行性耳下腺炎	▶	★	急性出血性結膜炎	▶	
流行性角結膜炎	▲	★	細菌性髄膜炎	▶	
無菌性髄膜炎	▶		マイコプラズマ肺炎	▶	
クラミジア肺炎	▶		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	▶	

【記号の説明】 前週からの推移： ▲：大幅な増加 増加 ▲：増減なし ▲：減少 ▼：大幅な減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
 空白：発生なし ★：わずか ★★★：少し ★★★★★：やや多い ★★★★★★：多い ★★★★★★★★：非常に多い

今週の注目感染症①

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、現在世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。日本では、2020年1月15日に1例目の感染者が確認されました。一般的な感染経路は、飛沫感染・接触感染が考えられますが、閉鎖空間で近距離で多くの人と会話するなどの一定の環境下であれば、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています（WHOは、5分間の会話で1回の咳と同程度の飛沫（約3,000個）が飛ぶと報告しています）。

●症状

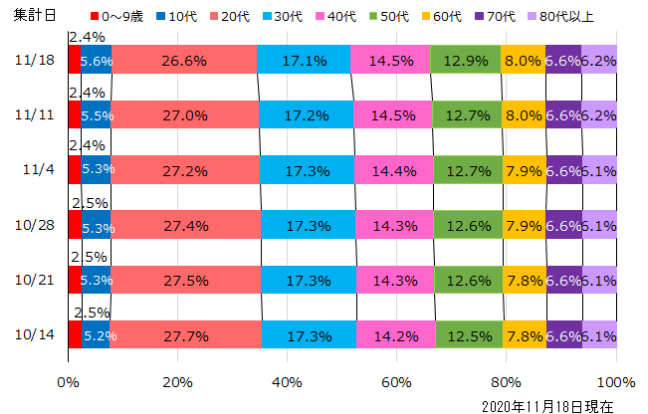
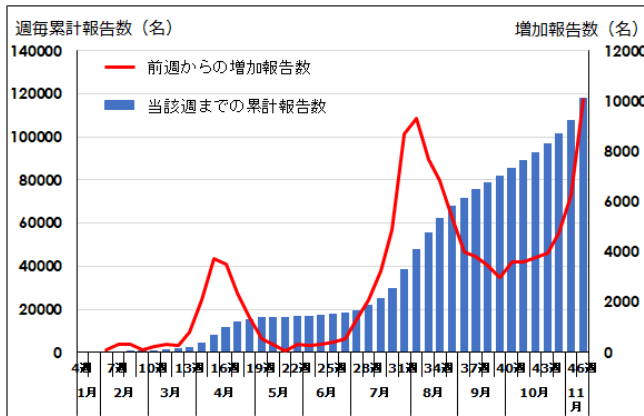
1～14日（通常5～6日）の潜伏期間の後に、主に発熱、咳、全身倦怠感等の風邪のような症状が出現しますが、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害などを呈する場合があります。国内の症例では、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強い倦怠感を訴える方が多いようです。高齢者や基礎疾患（糖尿病、心血管疾患、呼吸器疾患など）のある方がり患すると、重症化しやすいことが分かっており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない比較的軽症の例や無症状の方も多くみられます。

●発生状況

・全国

2020年11月19日0時現在までで、国内感染者は累計で122,966名、国内死亡者は1,922名、退院または療養解除となった者は106,954名となっています（厚生労働省ホームページより）。

全国では、クラスターの発生が増加しており、地方都市の歓楽街に加え、会食、教育機関、職場、医療機関、福祉施設など、発生場所の多様化や地域への広がりがみられます。

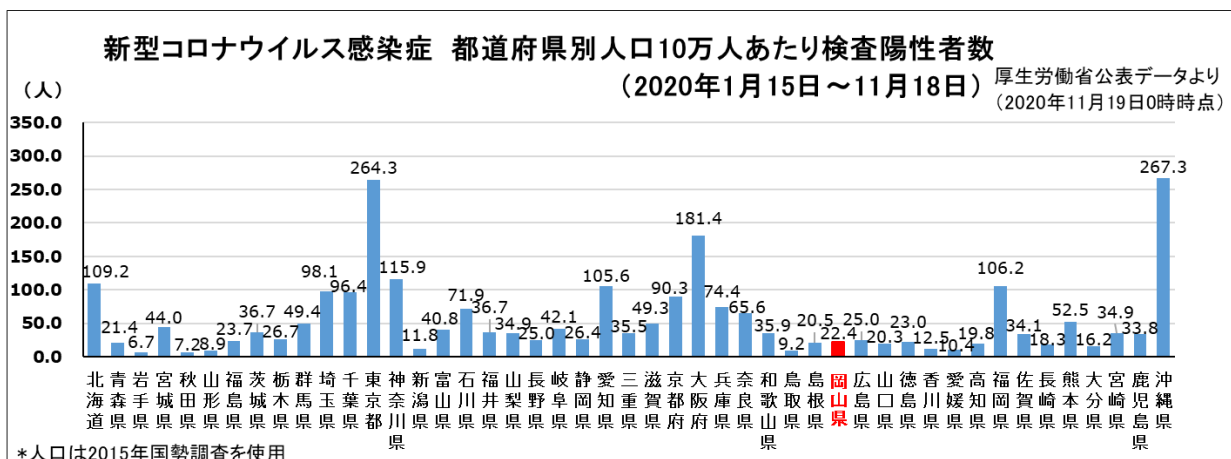


全国、週毎累計

厚生労働省ホームページより(2020年第46週まで)

厚生労働省ホームページより

(2020年10月14日～11月18日18時時点)



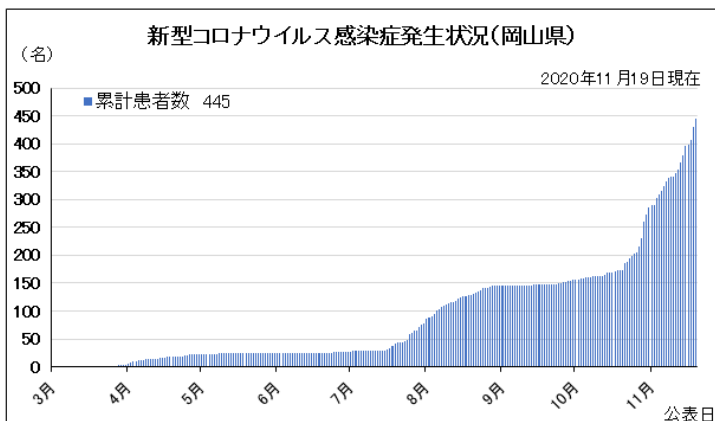
・岡山県(最新情報)

2020年11月19日現在までで、岡山県内では445名（男性221名、女性194名、性別非公表30名）の新型コロナウイルス感染症患者が発生しました。なお、県内で複数のクラスターが発生しています。

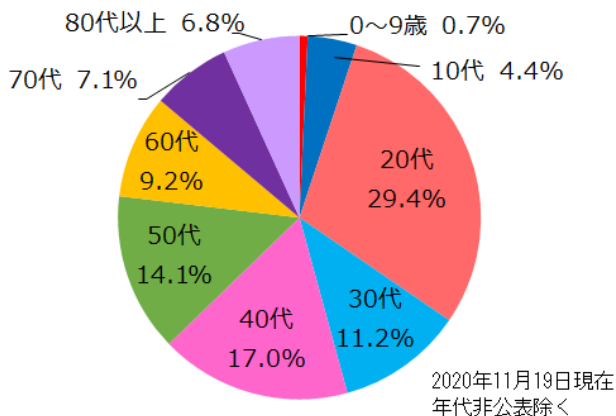
岡山県の状況、感染予防の方法などの詳細は、[新型コロナウイルス感染症について（岡山県健康推進課ホームページ）](#)をご覧ください。

第47週速報 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 49名

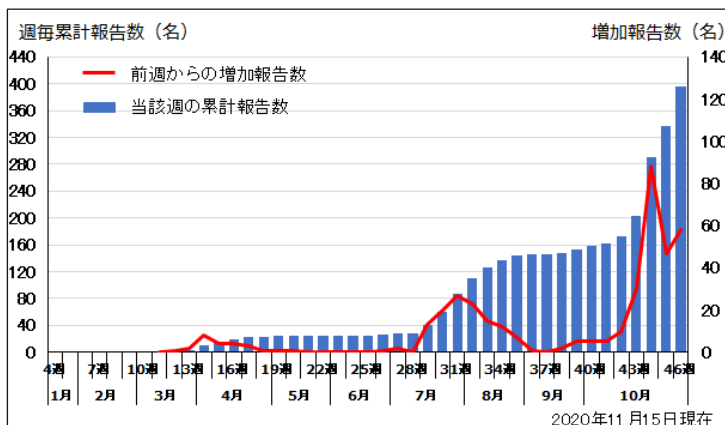
	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男			8	3	5	2	1				2
女		1	9	3	3		1		1		2
性別非公表											8



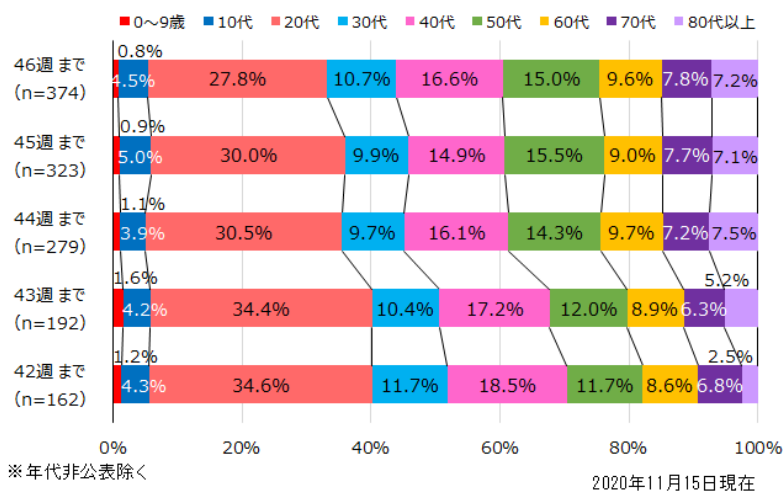
岡山県、日毎累計（2020年11月19日まで）



岡山県、年齢階級別累計割合
(2020年11月19日まで)



岡山県、週毎累計（2020年第46週まで）



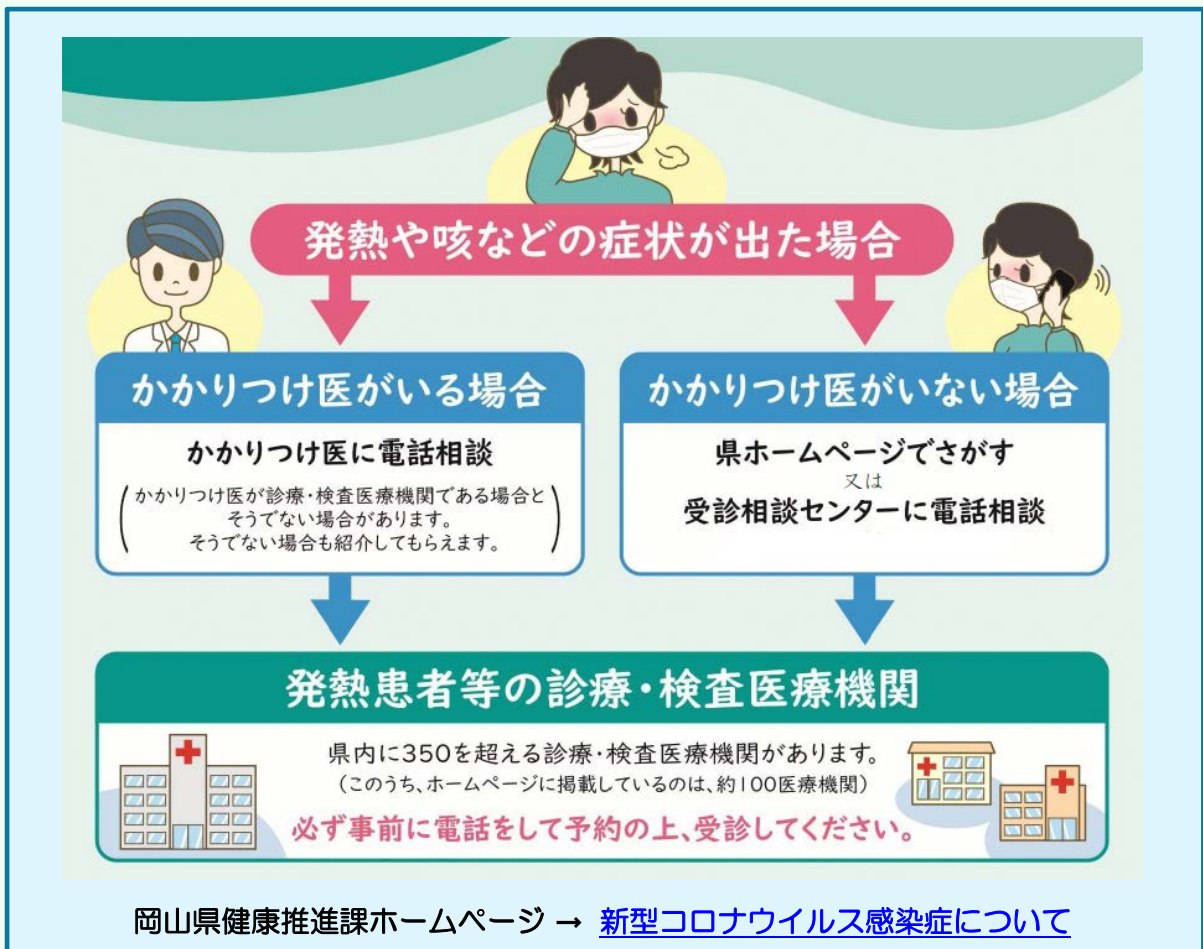
岡山県、年齢階級別集計週毎累計割合(第42週～第46週)

【発熱や風邪のときは「かかりつけ医」等にご相談を！】

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・風邪は、いずれも発熱や咳などで始まることが多く、初期症状が似ています。

こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱患者等の診療・検査医療機関」で相談・診療・検査をしてもらいましょう。

なお、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話予約をし、受診時はマスクを着用してください。



★予防接種を受けて、重い感染症にかかるリスクから子どもを守りましょう！★

現在、新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。

子どもの予防接種を遅らせると、必要な免疫をつけることができなくなり、予防接種で防ぐことのできる重い感染症にかかる危険性が高まります。

特に生後2か月から受け始めることは、母親からもらった免疫が減っていくときに、乳児がかかりやすい百日咳、細菌性髄膜炎などの感染症から乳児を守るために、とても重要です。

医療機関では、予防接種を行う時間や場所に配慮し、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。

子どもの予防接種は決して「不要不急」ではありません。まだ接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診（厚生労働省）](#)

[予防接種スケジュール（国立感染症研究所）](#)

[新型コロナウイルス感染症に関するQ&A（公益社団法人日本小児科学会）](#)

今週の注目感染症②

☆後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）

●後天性免疫不全症候群(エイズ AIDS)とは

エイズは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって起こる病気ですが、HIV感染＝エイズではありません。HIV感染後、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続き、さらに進行すると免疫が低下し、本来なら発症しない病気（日和見感染症）などを発症するようになります。通常数年程度の期間を要するとされていますが、近年発症の早い症例もみられています。免疫が低下することで発症する疾患のうち、代表的な23の指標となる疾患が決められており、これらを発症した時点で、エイズ発症と診断されます。現在はさまざまな治療薬があり、きちんと服薬することでエイズ発症を予防することが可能になっています。

●感染経路、予防方法および感染の確認方法

HIVの主な感染経路は、①性行為による感染、②血液を介しての感染（麻薬等の依存性薬物の回し打ちによる注射器具の共用）、③母親から赤ちゃんへの母子感染、の3つです。

①は、不特定多数との性行為を避ける、性行為においてコンドームを使用することで予防可能です。

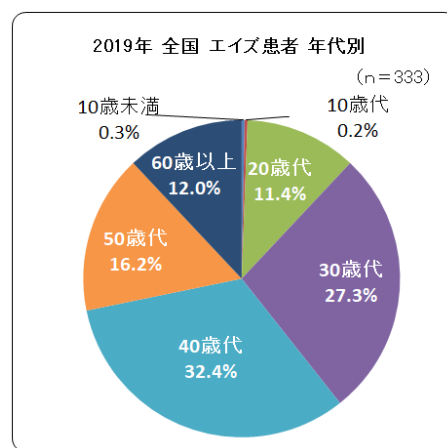
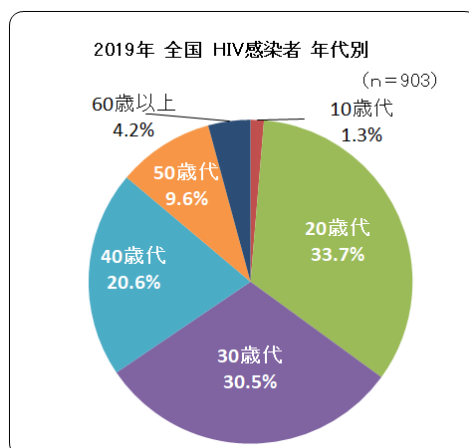
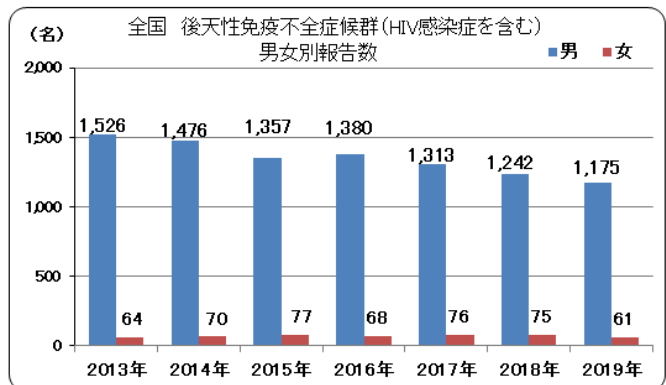
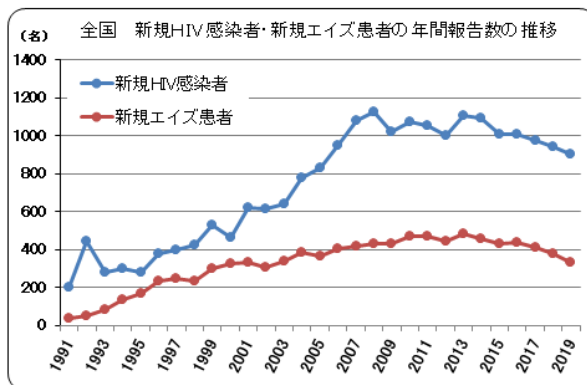
③は、母親がHIV感染症の治療薬を飲むこと、帝王切開での出産、母乳を与えないことなどで赤ちゃんへの感染を1%以下に抑えることができます。（[エイズQ&A（エイズ予防情報ネット）](#)）

HIVに感染すると、通常6～8週間経過して、血液中にHIV抗体が検出されます。感染初期にはインフルエンザに似た症状が出ることもありますが、この症状からはHIVに感染しているかどうかを確認することはできません。HIV検査を受けることで、初めて感染の有無を確認することができます。

●発生状況

・全国

2019年エイズ発生動向年報によると、HIV感染者の新規報告数は903名（前年940名）と、2007年以降年間1,000名前後で推移しています。エイズ患者の新規報告数は、333名（前年377名）と、2006年以降年間400名前後で推移しています。2019年のHIV感染者とエイズ患者の新規報告者の合計数（1,236名）は2018年（1,317名）より減少しましたが、依然として多数の報告がみられています。HIV感染者およびエイズ患者のいずれにおいても、日本国籍男性が80%以上を占めましたが、近年外国国籍男性のHIV感染者とエイズ患者の新規報告者の合計数が増加傾向となっています。

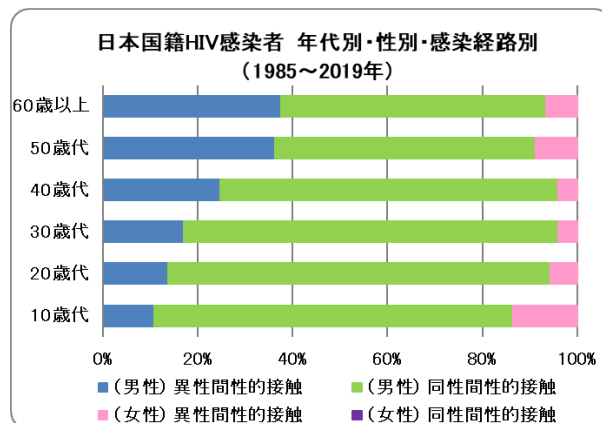


都道府県別でみると、2019年 HIV 感染者報告数（人口10万人あたり）は、東京都（2.41）、大阪府（1.20）、愛知県（0.87）の順で多くなっています。また、エイズ患者報告数（人口10万人あたり）は、福岡県（0.57）、沖縄県（0.55）、東京都（0.51）の順で多くなっています。

年代別では、HIV 感染者は20～40代で多くなっています。またエイズ患者は、20歳以上の各年代に分散していますが、特に40代で多くなっており、HIV 感染者よりも年代が高くなっています。

HIV 感染者の年代別感染経路では、男性はいずれの年齢においても同性間性的接触の割合が最も高く、年齢が上がるにつれて異性間性的接触の割合が高くなる傾向がみられます。

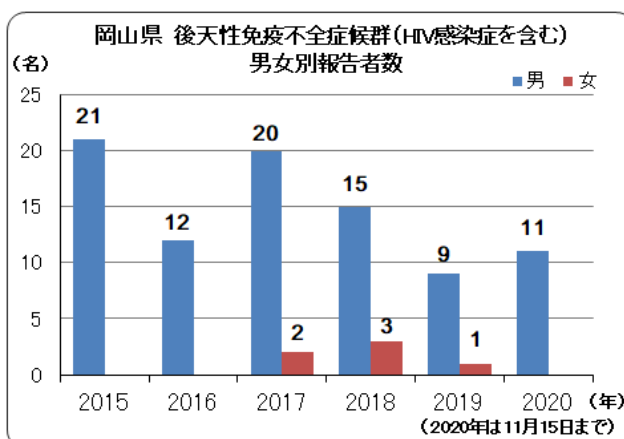
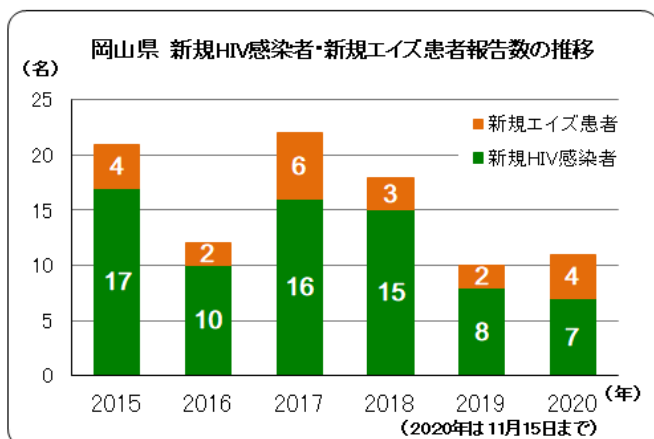
なお HIV 感染者、エイズ患者ともに、静注薬物使用や母子感染によるものはいずれも1%未満にとどまっています。



厚生労働省エイズ動向委員会 令和元(2019)年 エイズ発生動向データより作成

・岡山県

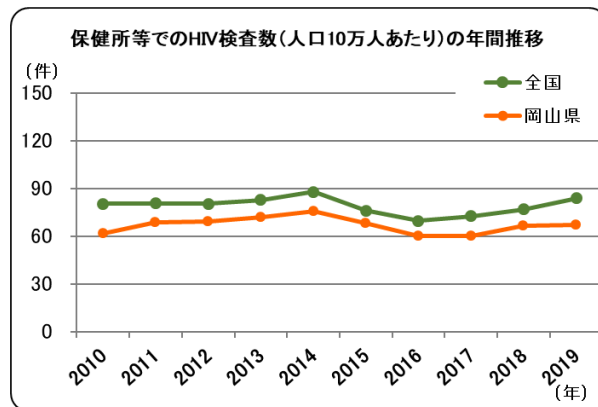
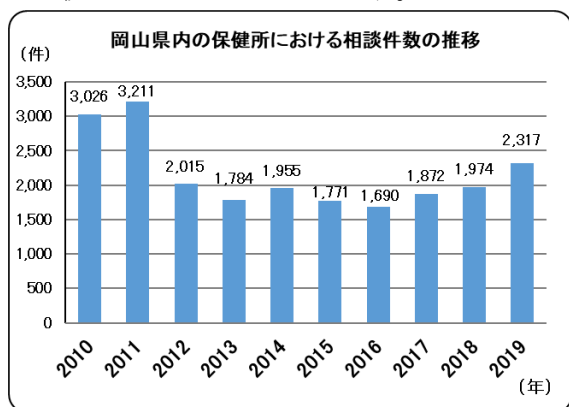
2020年第46週まで（～11/15）に報告された HIV 感染者は7名、エイズ患者は4名で、両者を合わせた新規報告数は11名となっています（2019年第46週までの両者を合わせた新規報告数は8名（HIV 感染者6名、エイズ患者2名））。



厚生労働省エイズ動向委員会 令和元(2019)年 エイズ発生動向データに、感染症発生動向調査から2020年のデータを追加して作成

【岡山県内における HIV 抗体検査・相談件数】

岡山県内の保健所等における相談件数は、2011年をピークに減少し、2012年以降ほぼ横ばいで推移していましたが、近年は増加傾向にあります。また保健所および拠点病院での HIV 検査数（人口10万人あたり）は、2010年以降ほぼ横ばい状態であり、全国の保健所等での HIV 検査数（人口10万人あたり）と比較して少なくなっています。



2020年12月1日 世界エイズデー

『知ってる！？ HIVとエイズの違い』

(「世界エイズデー」キャンペーンテーマ)



レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

[API-Net エイズ予防情報ネット「世界エイズデー」特設ページ](#)

厚生労働省エイズ動向委員会のまとめによると、2019年までに報告されたHIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者数と後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）患者数の累積報告数（凝固因子製剤による感染例を除く）は、30,000件を超えました。地域的、年齢的にも広がりを見せており、依然として予断を許さない状況にあります。

HIV 感染者 …… 感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届により、無症候性キャリアあるいはその他として報告されたもの。

エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届により、「AIDS」患者として報告されたもの（*いきなりエイズ）。
(既にHIV感染者と報告されている症例がエイズを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

※「いきなりエイズ」とは、エイズ発症によって初めてHIVに感染したことが判明することです。
HIV感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染の広がりにつながる可能性もあり、対策が必要です。

12月1日の世界エイズデーにあわせて、 岡山県内の保健所・支所では、日時を拡大して検査を実施します。

[世界エイズデーについて（岡山県健康推進課）](#)

[令和2年度 保健所における「世界エイズデー」関連夜間・休日検査 日程一覧](#)

※必ず事前に電話予約をしてください（ただし倉敷市保健所12月6日（日）の検査は予約不要）。
なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、検査が中止になる場合があります。

岡山県では、平成25年度から全県を挙げて、HIV感染防止と「いきなりエイズ」防止のため、「受けやすい検査」「戦略的な普及啓発」「関係者の連携強化」を3つの柱とした「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。

[おかやまエイズ感染防止作戦（岡山県健康推進課）](#)

○岡山県保健所・支所、岡山市保健所、倉敷市保健所のエイズ検査（一部、梅毒等も含む）・
性感染症相談は、以下のリンクから詳細をご覧ください。

[岡山県保健所・支所](#)

[岡山市保健所](#)

[倉敷市保健所](#)

○エイズ治療拠点病院のHIV検査（要予約、電話相談は行っていません）は、[こちらから](#)

HIV 検査について

HIVに感染しているかどうかは、HIV検査を受けないとわかりません。HIVに感染してからエイズ発症まで数年程度と、ある一定期間自覚症状がない時期が続くため、気づかないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIVは、たとえ感染しても早期に発見すれば服薬等を続けることで、エイズの発症を防ぐことができます。早期発見・早期治療がエイズ発症防止やHIV感染拡大防止にも結びつくことから、保健所（無料・匿名）や拠点病院（一律1,000円・即日検査）などでのHIV検査を積極的に利用することが望まれます。もしHIV検査で感染していることがわかった場合でも、県内10か所の拠点病院で専門的に治療を受けることができます。

岡山県内での HIV 検査

	検査法	結果時期	正しい検査結果が得られる時期	料金	予約	備考
保健所	血液検査	岡山市・倉敷市・備前・美作保健所 即日 陰性⇒約1時間後(簡易迅速検査による) 陽性⇒1週間後(確認のため)	感染が疑われる 機会があつてから 3 か月経過後	無料	必須	匿名 梅毒などの性感染 症検査も同時に 受けられる
		その他の保健所・支所 1週間後				
拠点病院		即日 (1~2時間後)	感染が疑われる 機会があつてから 8週間目以降	1,000 円	必須	匿名では 受けられない

重要！ HIV 等、性感染症の検査目的での献血は、絶対に行わないでください！

HIV やその他の性感染症に感染しても、検査ではわからない期間があります。また、献血された血液を検査した結果 HIV が陽性となっても、日本赤十字社は検査結果の通知は行いません。

HIV 等、性感染症の検査は、保健所または医療機関で受けてください。

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県健康推進課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#)

をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、全国的に始まりました(2019年4月から2022年3月31日まで)。

市町村から対象者に、順次風しんクーポン券が送付されることとなっており、以下のリストに掲載されている医療機関で、無料で抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月~2020年8月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、16.9%と未だに低い状況です!

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(2020年\)\(国立感染症研究所\)](#)



© 岡山県「ももっち」

保健所別報告患者数 2020年 46週(定点把握)

(2020/11/09～2020/11/15)

2020年11月19日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4	0.05	-	-	1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.30
RSウイルス感染症	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.11	3	0.21	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	10	0.71	7	0.64	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
感染性胃腸炎	137	2.54	62	4.43	20	1.82	27	2.70	-	-	14	3.50	-	-	14	2.33
水痘	10	0.19	1	0.07	5	0.45	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
手足口病	4	0.07	3	0.21	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	12	0.22	8	0.57	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
ヘルパンギーナ	14	0.26	7	0.50	2	0.18	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2020年 46週(発生レベル設定疾患)

(2020/11/09～2020/11/15)

2020年11月19日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4	0.05	-	-	1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.30
咽頭結膜熱	6	0.11	3	0.21	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	10	0.71	7	0.64	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
感染性胃腸炎	137	2.54	62	4.43	20	1.82	27	2.70	-	-	14	3.50	-	-	14	2.33
水痘	10	0.19	1	0.07	5	0.45	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
手足口病	4	0.07	3	0.21	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	14	0.26	7	0.50	2	0.18	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2020年 第46週 2020/11/09～2020/11/15)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	6	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	-	-	1	1	2	1	6	3	3	2	-	-	-	
感染性胃腸炎	137	1	5	21	16	8	10	11	9	6	3	6	13	9	19
水痘	10	-	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	5	-	-
手足口病	4	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	12	-	1	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	14	-	1	5	4	2	-	-	1	1	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

2020年 46週

分類	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	222	304	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	新型コロナウイルス感染症(指定感染症)	58	396	-	中東呼吸器症候群	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	4	腸管出血性大腸菌感染症	-	102	61
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	1	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	1
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	7	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	3	3
	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	11	3	日本脳炎	-	2	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	1	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	68	57
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	14	14	ウイルス性肝炎	-	9	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	24
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	1	2	急性脳炎	-	6	19	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	6	6	後天性免疫不全症候群	-	11	10
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	4	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	12	45	水痘(入院例に限る。)	-	4	9	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		1	147	190	播種性クリプトコックス症	-	2	1	破傷風	-	3	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	百日咳	-	86	428
風しん		-	1	3	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

